放射能対策政策監	理事	課長	係長	課員		

打 合 せ 記 録

（作成：健康管理係 横山隆幸）

会議名	市政アドバイザー（宮崎氏）との定期打合せ（27年~~7~~8月期）			
日 時	平成27年8月25日（木） 13:00～14:10		場 所	福島県立医大
参加者	福島県立医大	放射線健康管理学講座	助 手	宮 崎 真
	伊 達 市	健康福祉部 健康推進課	理事兼健康対策政策監	渡 辺 義 弘
			健康推進課長	佐 藤 高 広
			副主幹兼健康管理係長	横 山 隆 幸
			主査	菅 野 幸 宏

打ち合わせ内容

1 測定データ分析について　2 Dーシャトル測定の活用について
3 心と体のケア事業について　4 その他

協議項目	確認内容　●＝アドバイザー助言内容
1 測定データ分析 ①ガラスバッジ測定にかかる集計分析	○年間推計報告の速報を市長記者会見にて公表する。 ●5mSｖ超の６名は前回の11名とかぶっているか。 ○１名だけ、かぶっている。 ●会見資料を全体的にみると、１mSｖ未満という文字が頻繁に出てきているのが気になる。結果についてはかまわないが、考察においては、徐々に等にしてもよいのでは。 ○文面については、再検討して記者会見に臨む。
②WBC測定にかかる集計分析 1）検査結果（7月末現在）	○７月末時点の実施状況を確認いただいた。 検出者一覧により、今回検出のあった者の以前の結果も確認。前回未受検者が目に付く。
2）県のWBC実施方針	○28年度以降の県の実施方針は、車載式による巡回型から、施設固定に移行していくことになる。
2 Dーシャトル測定の活用	○速報での5mSｖ超の方に対して、状況確認時に、利用希望も確認していく。
3 心と体のケア事業について	○７月末時点の実施状況を確認いただいた。 ●今後、帰還が始まる市町村でも、心と体について、取組みが検討されてくる。

4　その他	○伊達市での「元気アップ復興隊」は、成井先生のＮＰＯ法人への委託としている。臨床心理士等が複数人で１日事業にあたることを考えると、人材確保の点からしても現在の委託料でできていることはありがたい。 ○福島県保健衛生学会にて、元気アップ復興隊活動を報告する。「お茶のみ会」の当日の流れ等、効果を口演することで、準備している。 ●ガラスバッジ測定の分析について、学術的に出していくためには、正式に市からの依頼が必要。（データ利用の同意） 個人を特定されないように何mメッシュにするかなど、位置情報関係を倫理審査に提出することにもなる。南相馬市病院の[redacted]先生を参考に考えたい。 また、別途協議したい。
■次回	平成２７年９月２９日（火）9：00～伊達市保健ｾﾝﾀｰ